

## カリバイ・カナトベック研究員(キルギス共和国)

キルギス共和国非常事態省外交・投資局チーフスペシャリストのカリバイ・カナトベック (Karybai uulu Kanatbek) と申します。非常事態省での私の主な職責は、自然災害や技術災害といった非常事態からの国民および国土の保護、国際会議の補佐、国内や近隣諸国の災害状況の把握諸外国との交渉といった調整業務です。



キルギス共和国は中央アジアの北東に位置しており、面積は 198,500 平方キロメートル、人口は 510 万人です。高い山々が連なり平均標高は 2,750 メートル、最も高いポベディ山は 7,439 メートルです。国土の 94%以上が標高 1,000 メートルを超えています。

非常事態省の調べによると、キルギスには世界に 75 種類ある自然災害のうち 20 種類、例えば地震、土石流、洪水、地滑り、雪崩、湛水などが発生します。

ADRC は設立以来、アジア地域の災害リスク評価、災害リスク軽減および防災行政分野における調整機関となっています。そして ADRC メンバー国は、災害から学んだ理論的知識を互いに共有するだけでなく、そうした知識を実行に移すことができます。この ADRC の客員研究員として、私の目的と立場は非常に重要なものだと考えています。私は ADRC で、災害予防、緊急災害対策、災害復興、地震災害対策、コミュニティベースの早期警戒システム等について学びたいと考えています。こうした分野を学ぶために、日本で近年地震の被害を受けた地域を訪問したいと思っています。ADRC での経験が私のキルギスでの仕事に必ず役に立つと考えています。

私はキルギス共和国に帰国した後、日本でこれから学ぶあらゆるスキルや知識を活用するつもりです。日本で ADRC やメンバー国から経験を積む機会をいただき、ADRC や日本政府に大変感謝しています。